

11 月の月ーレターです

9月28日、医療講演会に参加しました。土呂メンタルクリニック院長の竹林先生の被災時の経験談を聞き、日常の今だからこそ用意ができる事があることを知りました。今は、世界中のどこでも地震や大雨の可能性があります。

大事なこと(服用中の薬の正確な名前など)を書き記したノートを 一冊、防災リュックに入れておくだけでも「お守り代わり」になるよう な気がします。用意したものって、だいたい使いませんが…それが 一番ですよね。 (参加者 A)

この講演会でお話しいただいた O&A は、みなわ会に保管しております。お気軽にお声掛けください。



みなわ会ホームページ ⇒<近況コラム>や みなわ会ホームページ ⇒<イベント告知>⇒<千ラシ掲示板> にも、イベントの開催情報等を掲載しています! ぜひご覧ください

埼玉県精神障害者家族会連合会【2025年度】赤い羽根共同募金助成事業家族研修会

『今、なぜオープンダイアローグなのか?』

【講師】 森川すいめい氏・・・ オープンダイアローグ発祥の地フィンランドで養成コースを受講し、2020年に日本の医師として初めてトレーナー資格を取得した2名のうちの1人です。

オープンダイアローグとは、フィンランドで生まれた精神医療における対話療法の一種で、 患者・家族・医療スタッフなどが集まり、対等で開かれた対話(水平な対話)を通じて困難を 解消していくアプローチです。「困ったら、とにかく対話しよう」と森川氏は言います。オープ ンダイアローグのゴールは「対話そのもの」。問題解決や成果を求めるのではなく、対話の 先に可能性が広がっています。

精神障害で「困りごと」を抱える当事者や家族のみなさんに、森川氏のお話がヒントになることを願って・・・

【日時】 2025年 12月 10日(水) 午後13時~15時30分

【会場】 埼玉県障害者交流センター 第1・2研修室 さいたま市浦和区大原 3-10-1

【交通】 さいたま新都心駅よりシャトルバスあり(12:15/12:45)

さいたま新都心駅改札を出て右、2つ目の階段(エスカレーター)を降りて、左手3番乗り場から乗車ください。 ◆障害をお持ちの方が優先です。

【定員】 50名 (事前申し込み不要)

【主催・お問い合わせ】 埼玉県精神障者家族会連合会

電話・FAX 048-825-7172(火・木のみ) Eメール saikaren_kokoro@amber.plala.or.jp